# 営農技術情報(第2号)

## 目指せ!なのはな米1等比率95%以上!! ~「R3 JAなのはな米品質向上運動」実施中~

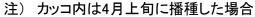
- ○高温登熟を回避するため、「**コシヒカリ」の田植えは、5月15日を中心**に行いましょう。
- ○4月下旬は気温の高い日が多くなります。**育苗ハウスは換気を徹底**し、がっちり苗に仕上げましょう。
- ○基肥は、**土壌条件に応じた施肥量となるよう調整**し、**必ず落下量を確認して施用**しましょう。
- ○気温の上昇に伴い雑草の発生が早くなっています。**除草剤は遅れずに散布**しましょう。

### 1 硬化期の育苗管理

- ・日中の**育苗ハウス内の温度が25℃以下**になるよう、**換気を徹底**しましょう。
- ・**かん水は、床土の乾きに応じ、的確**に行いましょう。 (育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意!)
- ・田植えの7~10日前からは夜間もハウスを開け、外気 にならしましょう。

### 【育苗期間中の温度管理の目安】

ステージ		出芽期	緑化期	硬化期
育苗		3日	2~3日	13~15日
日数		(3日)	(3~4日)	(15~20日)
温度	昼	30°C	25°C	以下
	夜	30°C	10℃以上	





## 2 本田準備

- ・田面に高低差があると、①田植機の植付精度が低下する、②除草剤の効果が劣る、③水管理がスムーズに行えない、等の問題が生じます。耕起・代かきは丁寧に行い。ほ場の均平に努めましょう。
- ・ヒエ等の雑草の発生を抑えるため、代かきは田植予定日の3~5日前に実施しましょう。
- ・代かきは少なめの水で行って稲わら等の埋没に努め、**代かき後の濁り水を用水に流さないよう注意**しましょう。

## 3 基肥量の調整

### ★田植前に必ず基肥量を調整しましょう。

- ・品種やほ場条件に応じた基肥量になるよう適切な施肥設計を行いましょう。
- ・田植作業の前に必ず田植機の点検・清掃や調節を行いましょう。特に、前年、基肥一発肥料が余った(注文数量より使用量が少ない)場合は、田植機の施肥部分の開度を確認し、基準量が確実に施用されるように調節しましょう。
- ・田植作業の最初の田では、肥料使用量と田面積から施用量を算出し、基準どおりか確認しましょう。

#### 【基肥設計例(品種:コシヒカリ、10a当たり)】

ETHORNER IN THE TANK TO THE TANK TO THE TANK THE									
土質	肥効調節型基肥	分施							
	側条施肥	側条施肥		全層施肥					
		設計 I	設計Ⅱ	設計 I		設計Ⅱ			
	   基肥一発肥料	なのはな 有機基肥	基肥555	なのはな有機基肥		基肥555			
	金川し プロルレイヤ			基肥	早期追肥 (田植後7日)	基肥	早期追肥 (田植後7日)		
砂質田	Jコートコシヒカリ1号 40kg	35kg	30kg	30kg	10kg	25kg	10kg		
壌質田	Jコートコシヒカリ2号 35kg	30kg	25kg	25kg	10kg	20kg	10kg		
粘質田	Jコートコシヒカリ2号 30kg	25kg	20kg	20kg	10kg	15kg	10kg		

<sup>※</sup>大豆跡田は、基肥量を5~7割減らす、または倒伏に強い品種の作付けに努めましょう。また、土壌改良資材を必ず施用しましょう。

# 4 苗箱施薬による病害虫防除

### ★苗箱施薬は規定量を確実に入れましょう。

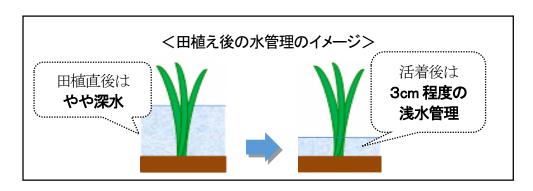
使用農薬	散布量	施薬時期	対象病害虫	
エバーゴルワイド箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ~移植当日	いもち病、白葉枯病、 <b>紋枯病</b> 、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、 フタオビコヤガ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ	1回
箱大臣粒剤	50g/箱	移植7日前 ~移植当日	いもち病、白葉枯病、 <b>紋枯病</b> 、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、 フタオビコヤガ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ	1回

注)水稲育苗後にハウス内で野菜等の栽培を行う場合には、苗箱施薬剤は必ず育苗ハウスの外で散布してください(ポジティブリスト対応)。

## **★春の農作業安全運動実施中(4/1 ~ 5/31)** 「見直そう! 農業機械作業の安全対策」

## 5 田植えと水管理

- ・コシヒカリの田植えは5月15日を中心とし、22日頃までに終えましょう。
- ・栽植密度は70株/坪・植付本数は3~4本/株、植付深さは3cm程度の浅植え (第1葉がみえる程度)を励行しましょう。
- ・前年度、収量が少なかった場合、**栽植株数を増やしてみましょう**。株数を増やすことにより穂数の確保につながり、天候が不安定な年も、より安定して品質と収量が確保できます(右図)。
- ・田植え直後は水没しない程度のやや深水とし、苗を保護しましょう。
- ・<u>活着後は田面が露出しない程度の浅水</u>とし、早朝入水・昼間止水で田水温 が高くなるように努め、初期分げつの発生を促しましょう。



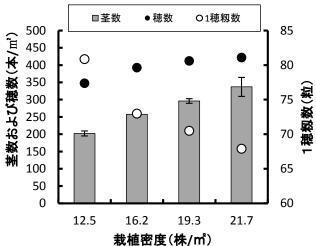


図 栽植密度が茎数、穂数及び1穂籾数に及ぼ す影響(H24農研)注)茎数:移植後20日目

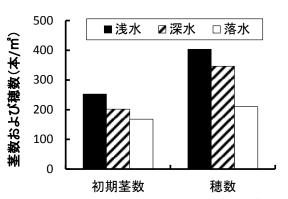
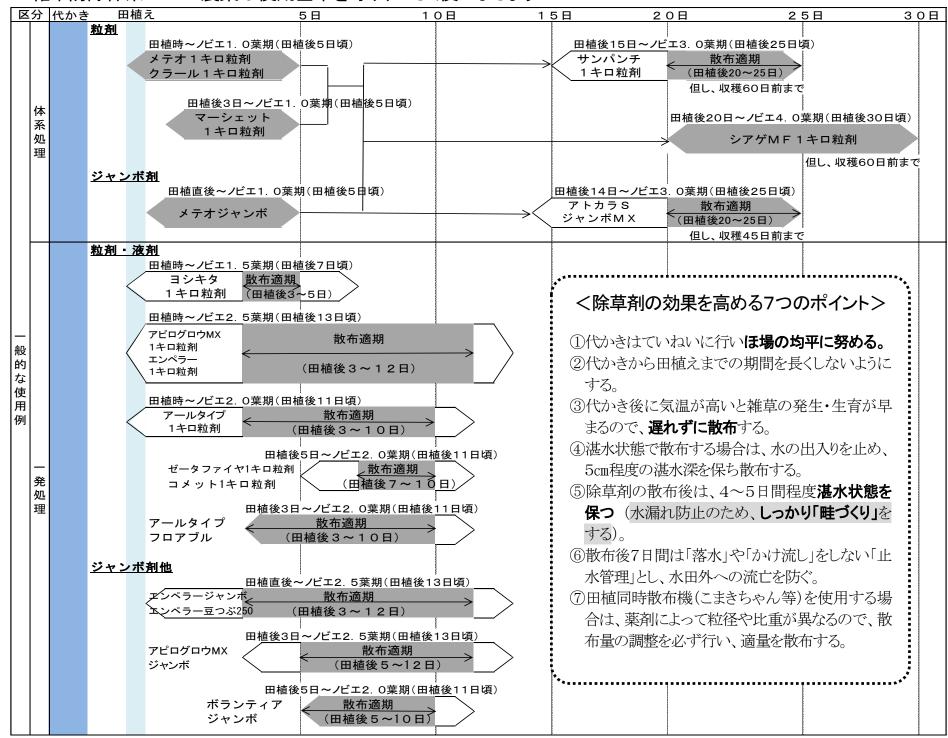


図 初期の水管理が初期茎数および穂数に及ぼす影響 (H24 農研) 注) 初期茎数: 移植後20日目の茎数

## 6 除草剤の散布

・除草剤の散布は遅れずに、適期に行いましょう。また、強風時の散布は避けましょう。

### ■雑草防除体系 ~ 農薬は使用基準を守り、正しく使いましょう! ~



#### ★なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています★

- <情報提供内容>
- 栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止対策、栽培管理情報
- ・その他必要と思われる情報

★営農情報提供サービス への登録はこちらから



※農耕車等で道路を走行後、 泥落ちした場合は、泥の 撤去をお願いいたします。